

中城村と国立大学法人琉球大学及び公立大学法人名城大学による
地域における雇用創出・若者定着に係る協定書

中城村（以下「甲」という）と国立大学法人琉球大学（以下「乙」という）
及び公立大学法人名城大学（以下「丙」という）は、中城村における雇用創出・
若者定着の推進を図るため、次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第1条 平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された乙及び丙のプログラム「新たな地域社会を創造する『未来叶い（ミライカナイ）』プロジェクト」事業（以下「COC+事業」という）及び甲の「中城村総合戦略」（以下「総合戦略」という）の推進のため、中城村における雇用創出・若者定着に関する目標を定め、その達成を図ることを目的とする。

（目標）

第2条 総合戦略における雇用創出・若者定着に係る主な目標は、「住み続けたい」定住を実現する暮らしづくりにおける甲と乙との官学連携による「琉大生の村事業への参加延べ人数120人」、「働きたい、訪れたい」豊かな資源を活かしたしごとづくりにおける「村内での新規就労者数15人（平成27年度～平成31年度）」である。またCOC+事業における数値目標は、事業協働地域就職率14.2ポイント増（乙及び丙の事業協働地域での就職者数137人増）、事業協働機関雇用創出数（以下「COC+雇用創出数」という）18人である。

これらの全体の目標に関して、甲、乙、丙が第6条に定められた期間内において、前条に掲げた達成すべき目標は、以下のとおりとする。

- (1) 甲における「住み続けたい」定住を実現する暮らしづくりと、乙がめざす質の高い教員養成に向け、村内の公立幼小中学校における大学生による教育支援活動を大学の授業等と連携して実施し、村事業への参加延べ人数120人を目標とする。
- (2) 総合戦略の目標である村内での新規就労者数15人並びに、COC+事業における数値目標である事業協働地域就職率14.2ポイント増及びCOC+雇用創出数18人に向けて、乙及び丙の新規卒業生による就職者数またはCOC+雇用創出数を4名以上とすることを目標とする。

（連携する内容）

第3条 第1条に掲げた目的を達成するため、甲、乙、丙は以下の取組を連携して実施する。

- (1) 地域課題（ニーズ）の把握・提供、雇用関連の情報提供に関する事。
- (2) 雇用創出・若者定着に向けた教育、人材育成に関する事。
- (3) 既存産業の活性化、新産業の創出に向けた取組に関する事。
- (4) とよむネット事業をはじめ村事業への学生の参加に関する事。
- (5) 教職をめざす学生をはじめとした、学生の実践教育における場の提供に関する事。
- (6) 護佐丸歴史資料図書館の利活用促進に関する事。
- (7) 小中学生が大学を身近に感じられる取組に関する事。

- (8) 公立学校における教育方法の改善に関する学術的な支援に関する事。
- (9) その他、目標を達成するために、甲、乙、丙が必要と認める取組に関する事。

2 前項の取組を進めるにあたり、必要な方策等については、3者による協議の上、別途定める。

（検証）

第4条 甲、乙、丙は、前条に掲げられた取組の実施後に成果検証委員会を設置し、第2条に掲げた目標に対する成果を検証し、必要に応じて取組の改善を行う。

（意見交換）

第5条 甲、乙、丙は、この協定の目的を達成するため、必要に応じて意見交換を行う。

（有効期間）

第6条 この協定は、締結の日から効力を有し、平成32年3月31日までとする。

（その他）

第7条 この協定に定めのない事項又はこの協定に疑義が生じた事項は、甲、乙、丙の3者による協議の上、決定する。

この協定の締結を証するため、本協定書を3通作成し、甲、乙、丙それぞれ署名押印の上、各自1通を保有する。

平成30年7月17日

(甲) 沖縄県中頭郡中城村字当間176番地
中城村
村長

張田 亮介
沖縄県中頭郡中城村
村長之印

(乙) 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
国立大学法人琉球大学
学長

大城 肇
琉球大学
学長之印

(丙) 沖縄県名護市字為又1220-1
公立大学法人名城大学
学長

山 里 勝 己
名城大学
学長之印